

よくある質問

この取組はどんな団体が利用できますか。

自治会・町内会、自治連合会、体育振興会、自主防災会、老人クラブ、地域女性会、PTA ほか、地域住民で構成された地縁団体（「地域団体」ともいいます）が利用できます。

市民活動団体とは何ですか。

よりよい地域や社会づくりをめざして、地域や社会の困りごとに目を向け、その改善や解決のために、自ら活動する団体のことです。NPO 法人はその一つですが、法人格を持たずに活動する団体もあります。

費用はかかりますか。

しみセンへのご相談は無料です。具体的な実施段階になると、各種実費や市民活動団体への謝金などが発生する場合があります。これらは地域団体でご負担ください。

発生する費用をまかなうための財源がありません。

行政の補助金や民間財団などによる助成金の活用、寄付集めなど、財源の確保についても市民活動団体やしみセンと相談しながら、一緒に取り組みましょう。

取り組むにあたって団体内や対象地域での最終合意ができていませんが、依頼できますか。

実際に取り組を進めるにあたっては、団体内、あるいは地域との合意はとても大切です。自団体だけで合意に至るのが難しい場合は、会議の進め方や意見交換の場づくりなどもしみセンがサポートします。

お問い合わせ・お申込み

京都市市民活動総合センター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1
「ひと・まち交流館 京都」2 階

☎ 075-354-8721 📠 075-354-8723 🌐 <http://shimin.hitomachi-kyoto.jp>

✉ shimisen@hitomachi-kyoto.jp

京都市市民活動総合センターとは

京都市市民活動総合センター（通称しみセン）は、京都市内を中心に活躍するNPO・市民活動団体を総合的にサポートする拠点施設です。さまざまな分野の市民活動団体とともに、話しあいの場づくりやコーディネートに注力し、地域や社会の課題に向き合う仕組みを市民自身が支えることができるようサポートしています。

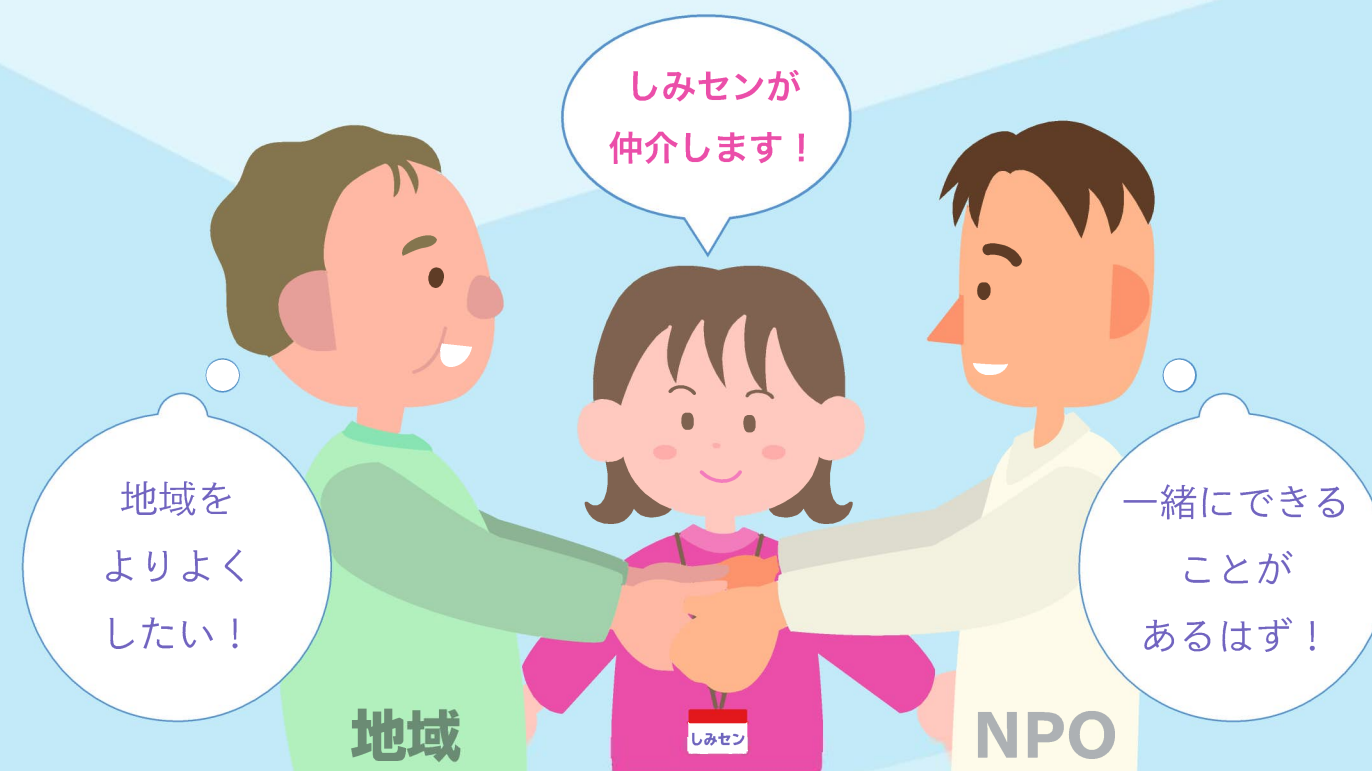
発行日：令和3年8月 京都市印刷物 第034344号

発行者：京都市文化市民局地域自治推進室

作成：京都市市民活動総合センター（指定管理者：特定非営利活動法人 きょうと NPO センター）

しみセン〔市民活動
総合センター〕、
相談に乗ってくれるって!!

～地域のみなさんと一緒に活動する NPO(市民活動団体) を紹介します～



しみセン“つながる”ネットとは

自治会・町内会など地域で活動する団体もつ「地域をもっとよくしたい!」「ちょっと困っている…」という思いに対して、**京都市市民活動総合センター（しみセン）**が、多様な活動を行うNPO法人をはじめとする市民活動団体を紹介し、地域をよくするために何ができるか一緒に考え取り組みます。

詳しくは、<https://tsunagaru.shimisen-kyoto.org> まで

しみセン つながる

検索



[回覽](#)

[illegible]

～地域の「よりよくしたい！」という思いを、手を取り合って「カタチ」にします～

地蔵盆のごみの量が3分の1に！

町内会 環境問題に取り組む NPO 法人

01
取組事例



毎年、地蔵盆のあとの大量のごみの始末に頭を悩ませていた町内会。そこで、NPO 法人と一緒に「ごみの出ないエコな地蔵盆」に取り組みました。

飲み物は、ペットボトルをやめて保冷ジャグから各自持参したカップにお茶をついだり、リユース食器やマイ食器を使用することで、ごみは例年の3分の1以下に抑えられました。また、太陽光で動くおもちゃを披露するなど、さまざまな工夫をすることで地域住民の環境意識も高まりました。

地域に生まれたにぎやかな多世代交流サロン！

高齢者サロンを運営する地域の団体 子ども食堂に取り組む NPO 法人

02
取組事例

単身高齢者の引きこもり予防を目的として開催していたサロンでしたが、同じ顔ぶれと同じ話題でマンネリ化が課題でした。そこで、地域で子ども食堂を運営する NPO 法人と協力して、クラフト工作やスマートフォン教室、エンディングノートの制作講座などを開催し、地域の人たちが誰でも参加できるようにしました。高齢者自身のコミュニケーションの幅が広がり、子どもも含めた多世代がふれあえる場になっています。



ワークショップで互いにつながるきっかけづくり

自治会 難病支援に取り組む NPO 法人

03
取組事例



地域住民のコミュニケーションが希薄になっていることに悩む自治会。一方、同じ地域で難病支援に取り組む NPO 法人は、近隣住民との関係づくりに悩んでいました。

そこで、お互いが手を組み、植物等の天然素材を用いた「新万葉染め」を楽しむワークショップを開催しました。近隣住民、難病患者とともに参加し、幅広いコミュニケーションが生まれるとともに、難病支援の理解につながる機会ともなりました。

～こんな「よりよくしたい！」があれば、ぜひご相談ください～

地域の「よりよくしたい！」こと		NPO(市民活動団体)ができること
地域団体をもっとうまく運営したい	運営方法を見直したい。	• 会則のつくりかた、会計方法の見直し、会議運営方法の見直しなどのアドバイス
	地域の共有財産の維持・管理はどうすればいいだろう？	• 地域の共有財産の維持・管理の方法についての話し合いサポート • 法人化が必要な場合のサポート
地域で仲良く、地域を元気に！	地域のいいところを見つけたい、伝えたい！	• 地域の広報紙づくりサポート
	マンションの中にもコミュニティをつくりたい。	• 独自の防犯・防災マニュアルづくりのサポート • 見守り活動の実施
いざという時に備えたい	地域での防災は何かから考えればいいのか？	• 避難訓練のプログラムづくり • 災害時を想定した地域独自の BCP(運営継続計画)づくりサポート
地域のお祭をもっと充実させたい	お祭を盛り上げる出し物をしてほしい。	• 音楽等演奏会の開催 • 子ども向け、親子向けなど各種ワークショップの実施

*このほかにも、サポートできる取組があります。詳しくはホームページをご覧ください。

*実施形態は、勉強会やイベントへの出演など短期的なものだけでなく、話し合いなどを通じて一定期間継続して連携する場合もあります。

～相談のながれ～

地域の「よりよくしたい」思い。
地域だけでは「カタチ」にしにくいこともあります。

会議でたくさんの意見が出るというなあ
災害の時はどうすれば・・・
お祭をもっと盛り上げたいなあ

しみせんつながるネット
お話しします！

1 2 3 4

しみせんスタッフが話を伺い、地域の課題にあった市民活動団体を探します。

■■■にできたら
それならば★★★
。。。なので

地域団体・市民活動団体・しみせんの三者で地域の状況や市民活動団体の活動内容を共有し、連携の可能性や具体的な方法を相談します。

一緒にやってみましょう
なるほど
いいかも
▲▲▲はどうですか？

*話し合いは、複数回になることがあります。

*ご依頼の内容によっては、マッチングに時間を要する場合、あるいはご要望にお応えできない場合があります。